

中国雲南省における水稲新品種 ^{てん} 滇粳34~37号							
[要約] 中国雲南省の標高1,500~2,100m地帯に適応する耐冷性、いもち病抵抗性、収量性に優れた4つの水稲品種を育成した。							
国際農林水産業研究センター 生物資源部, 雲南省農業科学院						連絡先	0298(38)6305
部会名	国際農業	専門	育種	対象	稲類	分類	1

[背景・ねらい]

中国雲南省は栽培稲の起源地とみられ、耐冷性、いもち病抵抗性の強い在来品種が存在する。これら雲南省の遺伝資源と草型等が改良されている日本の遺伝資源を利用して、雲南省の粳稲(ジャポニカ型)地帯、とくに標高1,500~2,100m地帯に適応する耐冷・耐病・多収品種を育成する。なお、前年度までに5つの合系系統が雲南省の優良品種として登録されている。

[成果の内容・特徴]

1. 昭和58年~昭和61年に日中遺伝資源を交配し、その後代から育成した4つの合系系統が、平成5年5月に雲南省の優良品種として登録された。
2. 登録品種の諸特性は表に示すが、概要は以下の通りである。
 - (1) 滇粳34号(系統名:合系15号) BL1/雲粳135(昭和58年交配)より育成された粳種。耐冷性は強、いもち病真性抵抗性遺伝子はPi-bをもち、外観品質は中上、食味は中中で、多収である。雲南省の標高1,900~2,100m地帯に普及が見込まれている。
 - (2) 滇粳35号(系統名:合系24号) トドロキワセ/楚粳4号(昭和60年交配)により育成された粳種。いもち病圃場抵抗性は葉、穂とも強、耐冷性はやや弱で、外観品質は中中、食味は中中で、多収である。雲南省の標高1,500~1,800m地帯に普及が見込まれている。
 - (3) 滇粳36号(系統名:合系25号) 83-81/ニシヒカリ//雲系3号(昭和61年交配)により育成された粳種。耐冷性はやや強~強、未知のいもち病真性抵抗性遺伝子をもつと推定され、外観品質は中上、食味は中中で、多収である。雲南省の標高1,800~2,000m地帯に普及が見込まれている。
 - (4) 滇粳37号(系統名:合系30号) トドロキワセ/楚粳4号(昭和60年交配)により育成された粳種。いもち病圃場抵抗性は葉、種とも強、耐冷性はやや弱で、外観品質は上下、食味は中上で、多収である。雲南省の標高1,500~1,800m地帯に普及が見込まれている。

[成果の活用面・留意点]

滇粳34号は昭通, 曲靖, 昆明, 保山地区, 滇粳35号は昆明, 曲靖, 楚雄, 玉溪, 紅河地区, 滇粳36号は昆明, 曲靖, 昭通地区, 滇粳37号は玉溪, 紅河, 大理地区を中心に普及が進められる。平成5年の雲南省における合系品種の作付総面積は約8.2万haで、対象地帯の水田面積の約25%を占めた。

[具体的データ]

表: 滇粳34号~37号の主要特性

品種名 系統名	滇粳34号 合系15号	雲粳9号 (比較)	滇粳36号 合系25号	雲粳9号 (比較)	滇粳35号 合系24号	滇粳37号 合系30号	楚粳3号 (比較)
熟期 草型	早生の晩 穂数型	中生 穂重型	中生の早 偏穂重型	中生 穂重型	中生の早 中間型	中生の早 穂数型	中生の早 穂数型
出穂期(月日)	7.28	8.3	8.1	8.2	7.19	7.18	7.18
成熟期(月日)	9.9	9.18	9.16	9.18	8.24	8.22	8.24
稈長(cm)	82	99	77	102	87	85	88
穂長(cm)	17.0	17.1	17.8	16.8	16.4	17.2	16.6
穂数(本/m ²)	564	423	447	406	453	541	538
芒の多少・長短 ふ先色 脱粒性	稀・短 褐 難	無 黄白 難	無 黄白 難	無 黄白 難	無 黄白 易	無 黄白 易	無 黄白 易
耐倒伏性	やや強	弱	強	弱	強	やや強	中
耐冷性	強	強	やや強~強	強	やや弱	やや弱	中
いもち病真性 抵抗性遺伝子型	Pi-b	+	不明	+	Pi-i,k ^m	Pi-i,k ^m	+
葉いもち	-	やや強	-	やや強	強	強	やや弱
穂いもち	-	強	-	強	強	強	弱
籾重(kg/a)	77.8	58.9	84.8	65.9	115.9	112.0	94.2
同上標準比(%)	132	(100)	129	(100)	123	119	(100)
籾千粒重(g)	23.8	20.8	25.2	20.9	26.3	23.3	24.0
玄米品質	中上	中下	中上	中下	中中	上下	中中
食味	中中	下	中下	下	中中	中上	中中
調査地	昆明		昆明		宜良		
調査年次	1989*~1990年		1989~1990年		1990~1991年		

注) 生産力検定本試験の成績である。但し、*印は区域試験の成績。

[その他]

研究課題名: 中国における稲遺伝資源の評価と利用技術の開発

予算区分: 国際プロ(稲遺伝資源)

研究期間: 平成5年度(昭和58~平成5年)

研究担当者: 春原嘉弘, 富田 桂, 安部信行, 藤村泰樹, 藤田佳克, 井上正勝, 岩野正敬, 松永和久, 堀末 登, 森谷国男, 東 正昭, 国広泰史, 内山田博士, 小山田善三, 轟 篤, 蔣志農, 王永華ほか16名

発表論文等: 遺伝資源利用による水稲育種. 第21回熱帯農業研究国際シンポジウム論文集(TARS) No. 21, 314p. (1988).